小林さんちのメイドラゴン

クール教信者
Coolkyousinnjya

5

ACTION COMICS

The maid dragon of Kobayashi-san

ACTION COMICS

小林さんちのメイドラゴン

The maid dragon of Kobayashi-san

5

クール教信者
Coolkyousinnjya

もくじ

第40話 トールとお花見 …… 005
第41話 トールと睡眠 …… 017
第42話 トールと看病 …… 030
第43話 トールとパトロール …… 045
第44話 トールとエルマII …… 063
第45話 イルルと才川 …… 083
第46話 ルコアと翔太 …… 097
第47話 イルルとメイド喫茶 …… 111
第48話 トールとお祭り …… 123

プラッツ

お花見の案内

暖かい季節となりましたね。
さて 社員の皆様のより一層の励みと
団結を期待し、お花見を下記の日時に
行います。是非 御参加下さい。

第40話
トールとお花見

お――

こんなスポット
よく見つけて
きたね
あれ 小林さん
覚えていないん
ですか？
え？
ここは私と
カンナが
じゃれあっていた
草原ですよ
ああー

じゃあ この桜は
どうしたの？
ルコア
さんが
持ってきました
やめれ～
のっこ
どこから？
知りあいに
肉片が花になる
人がいて…
頼んで
分けて
もらったん
だよ
これ肉片!?
えぐい…

さ お酒も
持ってきましたし
さっそく始め
ようか
そだね
では せんえつ
ながら幹事の
私が挨拶を…
コホン…
え トール
幹事だったの？

えー 今日は
小林さんの花見の為に
集まって頂き
ありがとうございます
小林さんを
楽しませる
レクリエーションも
御用意しましたので
せいぜいその為に
力を惜しまず
私の居心地
悪くなるから
やめろ!!

とくとく…
チャプン

風情あるねー
自然を楽しんで酒を飲むのは満足度が違うわー
自然を楽しむ…
まるで人が自然から乖離したような台詞ですね
さくらもちうまー
そうだねー美意識に客観性を求めて共有していくとそうなるのかも

ん？
ちらっ
オォオォオォオォオオ……
え――
カチカチ…
カチカチ…
カチカチカチ

これはひどい…
何しに花見にきてるのさ
いやこういうのもだいごみでヤンスよ
キキキ
そうかなぁ
滝谷余所見するな!!
協力して尾を切断するぞ!!
お前が頼りだ!
ゲーム内の信頼感すごいな
翔太君もそっち側？
だって女の人ばっかりで落ちつかないし…
そりゃそうか

なんだ
少年
暇なのか？
エルマ？
スッ
よーし じゃあ
私が一肌
脱ぐとしよう
しゅる…
え？
ちょっと
エルマ
何を…
パサッ
わわわ
!!?
こういった席では
芸の一つでもやる
らしいからな
調べてこれが
いいと思った
いや あれは
それ専用の
おっさんがいて
ぐりん
ぐりん
女がやっても…
いや めっちゃ
うけてる
アハハ
トールは…
アハハハ
フサマハハハ
違う意味で
うけてる

さて盛り上がってきたことですし…
スッ…
さっき言ってたレクリエーション？
はい！
スッ…
くじ引き？
ヒョウガ達ゲームの？
さて皆さん！大会をするので組分けのくじ引きをお願いします！
大会？
腕相撲大会です!!
え それ私出ないよね？
小林さんは審判です

はい
では
一回戦
滝谷君
対
イルル
滝谷君
なんで
やるの？
え？
ああ
一応ね
はい
レディー
レディー！…
流石(さすが)に
小さい子
相手なら…
GO!!
ビキャ
骨
いった
かも
大丈夫？
アホですか
あなた
滝谷君って
案外 無謀な
人だよね
はい二回戦は
カンナちゃん
対
ルコアさん
ん～
ん～
クテッ
トン
はい
ルコアさんの
勝ち
両手(カニうちゃん)ダメ

そして…
やるのかい？
がりまぜる
着々と
試合が
進み…
決勝へ
進む二人が
決まった
トールはともかく
ルコアさんか…
意外な人が
残ったなぁ…
てっきり
ファフっさんが
残るもんかと
ファフっさん
言うな
引きこもって
ばっかりで
鈍りましたか？
ほっとけ
そういえば…
君と遊びとはいえ
一対一で勝負するのは
初めてだね…
そういえば
そうですね

くぅ
あっ
本気でやろっか
ぐぐ…
つ 強い
負ける!!
ーーヴ…

トールさん
頑張れえええ!!
え!?
僕じゃないの!?
ゆるっ
今だ!
あっ
翔太君…
何故…
買収してました
はい魔力水晶
されました
そんなぁ〜
わはは

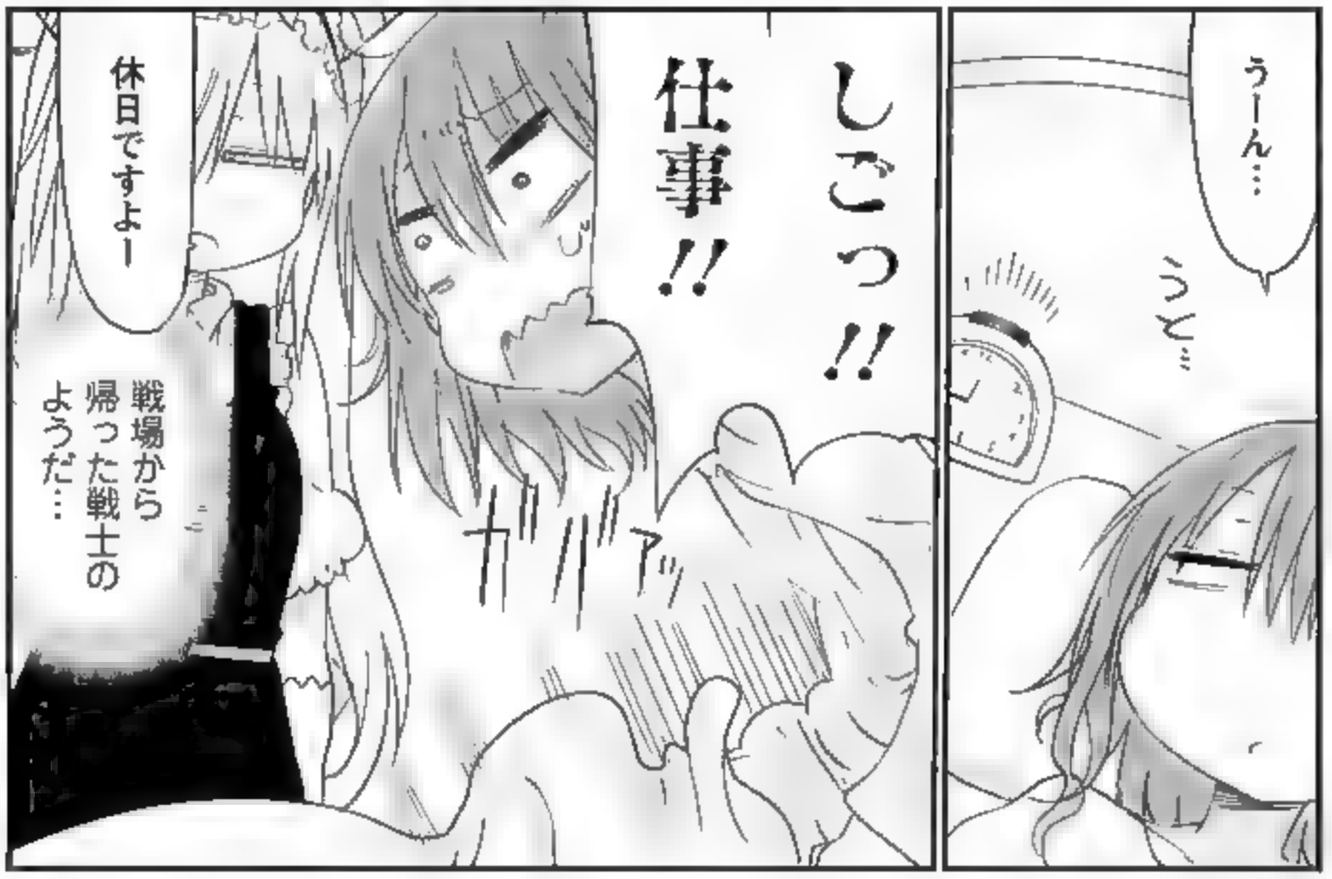
こうして
花見は
滞りなく
終わり…
勝ったトールが
ベストメイドー
やったあああああ
私は
ほろ酔い
程度で
楽しんだの
だった

花見を
しといて
なんですが
花と竜って
似合わない
気がしますよ
そんな映画が昭和に
あったけどね
それに
竜の名前が
ついた花も
あるよ
リンドウって
いうんだけど
へー
トールに
似合いますかね

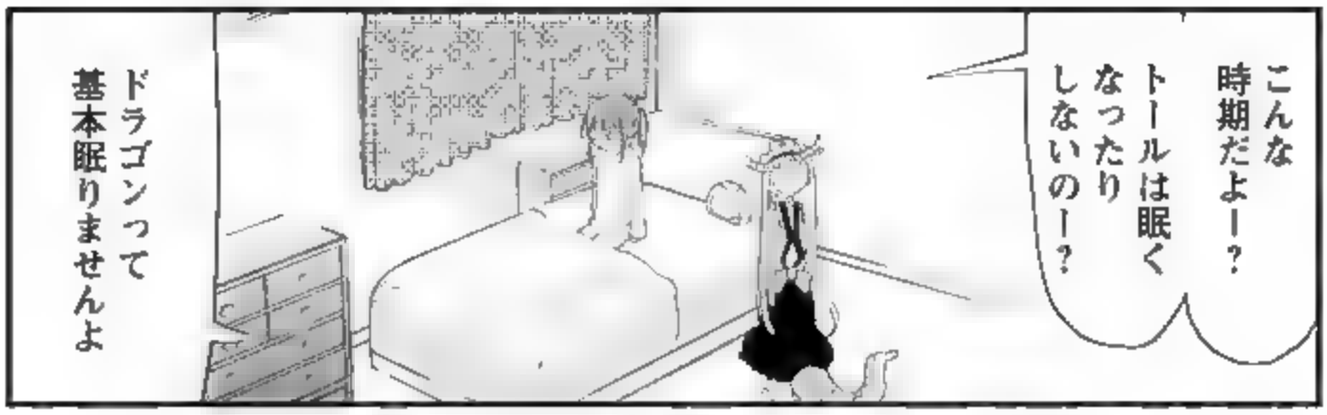
さぁ
どうだろうね

春眠
暁を
覚えず

春の夜は
心地よいので
朝になった
ことも気づかず
眠り込むこと
今の小林さんに
ぴったりの
言葉だ
グー
グー
イルルの
騒動
度重なる
デスマを経ての
休日……
まぁこうも
なるのかな
ふふふ…小林さん
気持ちよさそうに
眠ってる…
まるで
シュナーンに
十字を切られた
一つ目竜のよう…

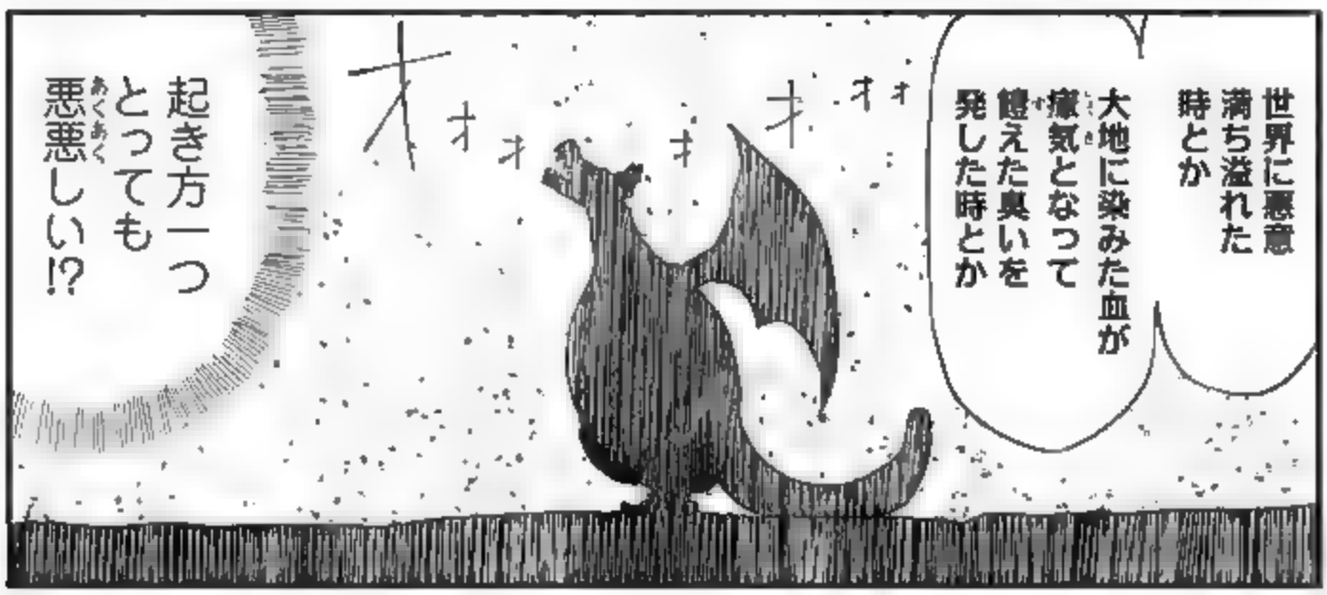

うーん…
うと…
しごっ!!
仕事!!
休日ですよー
戦場から
帰った戦士の
ようだ…

第41話 トールと睡眠


こんな時期だよー？トールは眠くなったりしないのー？
ドラゴンって基本眠りませんよ

ファフニールさんだって宝を守る為に不眠不休で24時間いたみたいですし
セキュリティがアナログだなぁ
同僚の魔女（メティ）の薬で眠らされて昏眠中いろいろバクられてるんですよねぇ

でも私は寒い時期に眠くなりますね
冬眠とかするの？
そうですねー深い眠りについてそのまま熟睡ですよ
私ってそういう時きっかけがないと起きれないんですよね
きっかけって？


世界に悪意満ち溢れた時とか
大地に染みた血が瘴気（しょうき）となって饐（す）えた臭いを発した時とか
起き方一つとっても悪悪（あくあく）しい!?

そんな私も
この世界に
来てからは
よく眠ります
合わせて
くれてるんだ？

それも
あるんですが
妙に寝ようという
気になるというか…
原因は
わかってますけど
？
よく寝てるといえば
カンナちゃんだなぁ
グ〃〃
今も
寝てますよ

ここに
スッ〃
あ…
イルルも
スス…
ああ…

もー
せっかく布団
買ったのに
毎回ここで
寝ちゃうん
だから
わー
小林さんに
甘えてるんですよ
その二人は親と
一緒に寝ることが
あんまりありません
でしたからね
そっか…
トールは
違うの？

私は結構
親に甘える
ほうでしたよ
ふーん

さて…
そろそろ…
もう一眠り
するか
ドサッ
小林さーん？
いいじゃん
眠るの
楽しいのー

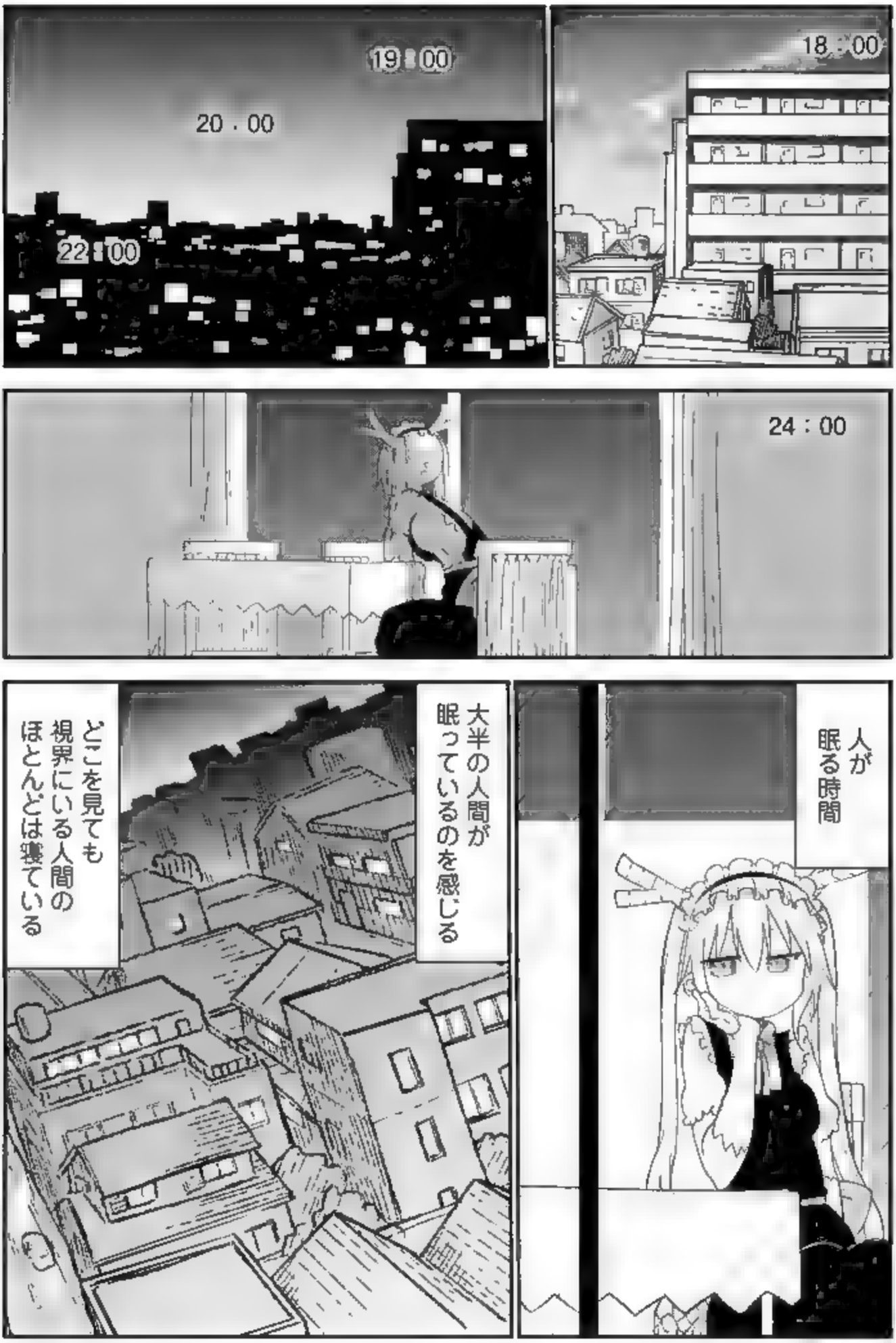
ああなっちゃうと
まったく起きないんだもんなぁ…
しょうがないから晩御飯の買い出しをしよう
お？
ん？
ムー
もぐもぐ
チッ
こんな時間に会うとはついてない
こっちの台詞だ
ペッ
なんですかその甘味の量
ドラゴン辞めて豚になるんですか？
ほっとけ
眠りすぎて頭が動かないから糖分が欲しいんだ

あなたも
寝るように
なったんですね
人間さんの
営みを学ぶ過程で
自然と…
ん？ お前も
なのか？
まぁ…
不思議な
ものだよな
この眠気は
どこから
来るのだろう
退屈から…
じゃないですか？
退屈？
退屈を
感じている
のか？
なら何故
帰らない？
退屈は…
嫌いじゃ
ないんです

私達は何年も眠らず
ずっと戦い続ける
ことも よく
ありました…
退屈になれ
なかったんです
我々が
楽しんでるものは
その退屈
なんですよ エルマ

トール…
お前…

ふん！
くっちゃ寝の
豚に言っても
わからない
ことでしたね！
なっ
せいぜい
そこのスーパーで
100gあたり
88円で売られる
ことですね！
手軽な安さで
例えるなー！


18：00
19：00
20．00
22：00
24：00
人が
眠る時間
大半の人間が
眠っているのを感じる
どこを見ても
視界にいる人間の
ほとんどは寝ている

私はこの静寂が
嫌いじゃない
安心して人が
眠っているのを
眺めているだけ
静かだな

静かだね
!

寝酒…
昼寝すぎちゃって眠くないんだ
ゴク ゴク
ねぇ小林さん人はどうして眠くなるんですか？

生理現象だよ
寝ないと
死んじゃうの
進化の過程で
夜行性より昼行性を
選んだっていうのもある
そういうことを
聞きたいわけじゃ
ないか…

そうだなぁ…
同調圧力って
やつかな…
大衆に
流される
やつですね
そう
誰かが
夜はいろいろ
暗くてやりづらいから
さっさと
寝ちゃうんだ

そしたら誰かが
賛同して私も
私もって…
皆が寝てしまうと
起きてる自分が
少し寂しいってさ
皆が合わせて
眠ってく…
だから 夜眠る
こんな
もんでいい？
…はい
それは…

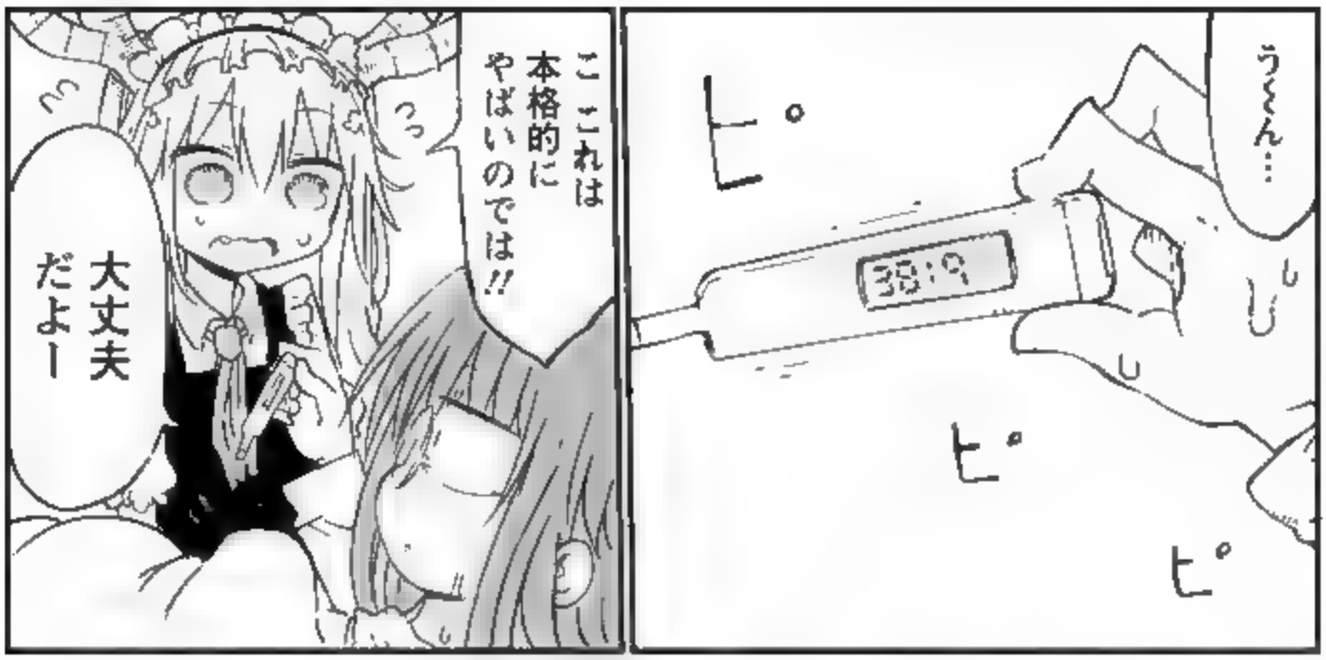
私もその同調圧力に屈したって…
そういうことになるのかな…

あ…
パチ
寝ちゃった…
むく…
ふふふ…気分スッキリしてるぞ…

小林さんおはようございますってどうしました？
めっっっっっっっっっちゃ寝坊した……

第42話 トールと看病

こほっ
こほっ
どうしました
小林さん？
風邪ひいちゃった
みたいだ
風邪…
私には
わからない
やつですねー
ドラゴンは
風邪に
ならないの？
私の体内で
ウイルスや
微細菌ごときが
存在できるわけ
ないですね
いいなぁ…
さて仕事に
いかないと…
え？
体調悪いん
ですよね？
大丈夫
なんですか？
大丈夫
大丈夫…
これくらいで
休んでいたら…
と…
ファア
おっとっと…
バタン
……
シーン…
小林さーん!!


うぐぅん…
ピ
38.9
ピ
ピ
ここれは
本格的に
やばいのでは!!
大丈夫
だよー

あ でも
これは会社
行けないわー
電話
しなきゃ…
私が
します!!

風邪?
うん
わかったよ
こっちで
何とかするって
小林さんに
伝えてね
はい…
あの
滝谷さん
小林さんは薬を飲んで
早々に眠って
しまったのですが…
私にできることは
ないでしょうか?
風邪の人間に対して
どう接していいか
わかりません
小さくなって
風邪の菌を
やっつけるのは?
できますが
小林さんの身体ごと
破壊しそうで…
じゃあ…

看病…
そう大事なのは
!!
!!
ギャワワワ
なるほど
つまり必要なのは
メイドの力…！
小林さんには
私が必要と
されている!!
私の全力で
コレに当たらねば!!
でも…
それで…
看病…って…
どうやるんだ…
なんか美味いもの
食べさせれば
いいんじゃないか？
木炭とか
石炭とか
小林さんは
火炎竜でも竈でも
ないんですよー
俺は人を
病気にする
術は知っているが
治す術は知らん
守りも覚えて
くださいよー
消化にいいものを
食べさせてあげたり
身体を冷やしたり
汗をふいたりして
あげるといいよ
3人目にならないと
それっぽい答えが
出ないあたり
私の交友関係って…

とにかく
消化に良い
ものですねー…
…何が消化に
いいんだ？
私 大抵のものは
消化できるしな…
コンクリとか…
牛丼

お…
丁度いい
本が…
メイドー
メイドー
たくさんレシピ
たくさんレシピ
消化にいいもの
染みるあじ
おじや…
簡単そうな
料理ですね
ヨーグルト…
カンナのが
冷蔵庫に
あったような
やわらかい
うどん…
ゼリー…
バナナ…

よし！
できた！
バーン

せっかく作ってくれたし…
ゲテモノだ食えないって言うのは野暮だから食ってから
異世界にはきっとこんな料理があるんだよなぁ
食い合わせの概念覚えさせるの大変だよなぁ
くっ…
ガ!!
おーいい食べっぷりですねー
次からは普通に棚のレシピ通り作って…
普通に…
はーい
じと…
結構汗出てますね…
汗拭かせてください
え…
うん…
ﾌﾟｷ…
ﾌﾟｷ…

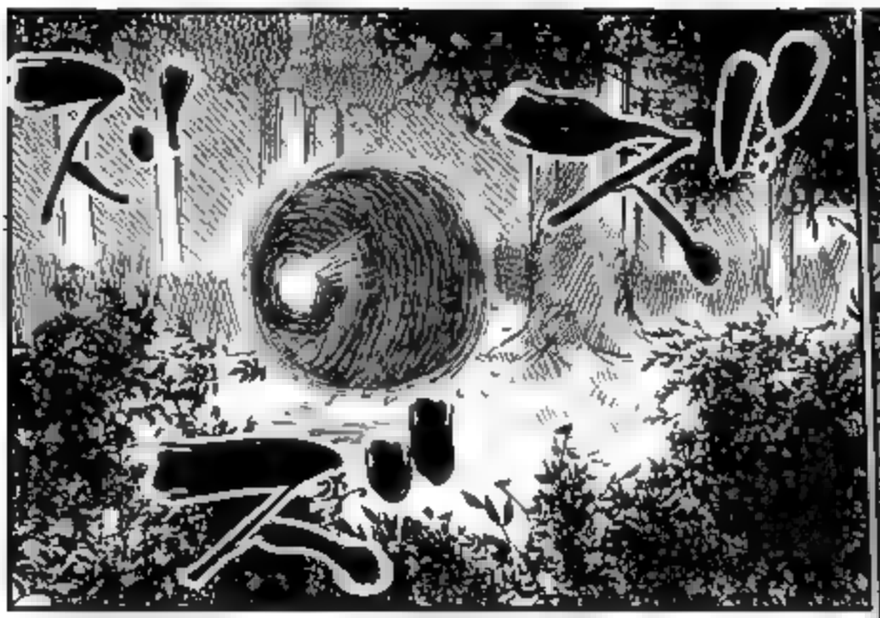
なんでしょう…
Oo
すごく
ドキドキする…
Ooo
あー…

小林さん…
いつもは
とてもしっかりした
人間と
感じるから…
こんな弱った
姿を見るのは
初めてだ…
大丈夫…
ですよね？
流行り病で
滅んだ村を
知っている。
滅び行く
国も見た
ことがある…
大丈夫…
ですよね？

大切なものが
壊れものでは
あってほしくない
でも壊れない
ものなんて
ない…
特に私はなんでも
壊せるからこそ
そう思う…

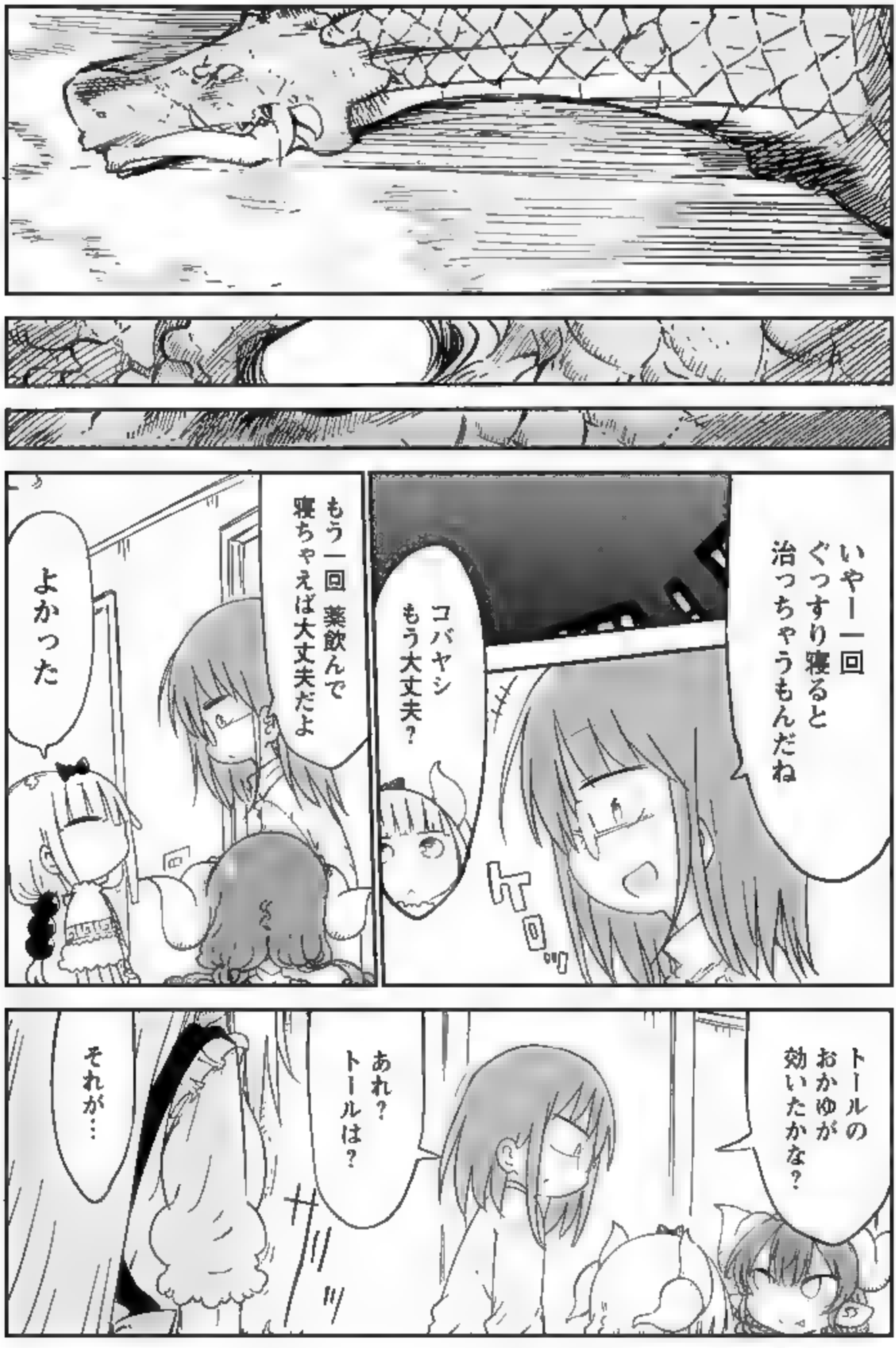
ガタッ
…よし

ただいまー
カンナ…
小林さんを
見ていて
ください
？
うん


ズ!!
ズズ…

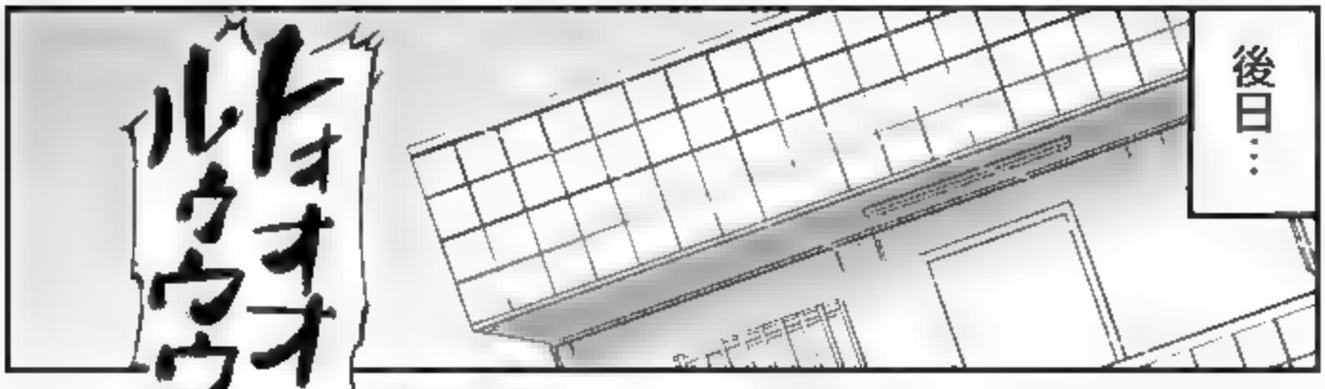
ザザ!!…

不死の薬は
あるけど小林さんは
そういうのが嫌いだ
だったら
せめて病だけを
治す薬を探さねば
かえって大変
かもしれない…
だけど
やる!!
大切な小林さんが
待っているのだ!!
?


いやー一回
ぐっすり寝ると
治っちゃうもんだね
コバヤシ
もう大丈夫？
もう一回 薬飲んで
寝ちゃえば大丈夫だよ
よかった
トールの
おかゆが
効いたかな？
あれ？
トールは？
それが…

トール？
どうしたの…？
くたびれてる
じゃない…
ぐて
いえ…いろいろ
回ってまして…
よく効く
薬を見つけたん
ですよ…
じゃら
え？
それって…
大丈夫なの？
また変なのでも
入って…
……
ボロ…
……
貰うね
はい
スッ
くいっ
ごくり
…うん 効いた
効いた…
実際 効いたかは
わからないけど…

あんな顔されたら
何 入ってても
効いたって言うよ…
トール…
ありがとう
えへへ…


後日…

トオオルウウ

どういうことよ
これぇ!!
ピコ
えっと
副作用
ですかね?
獣人用の
ものでしたので…
ピコ
でも
かわいい…
こんなんで
出社できるかぁ!!
半日後
元に戻った

カニカニ
みー
にー
ぺし

通り魔・不審者注意!!
最近は児童を狙える保護
登下校時に注意し
つきましては
17日の
よろしくお願
怖いなー
パトロール募集だって

これなんですが
実はトール頼まれました
え!?

前に商店街でひったくりを捕まえたウデを見込まれまして
ああ…あったねそんなこと…

大丈夫かな…
お! 心配してくれているんですね
うん
たぶんコバヤシが心配してること違う…

第43話 トールとパトロール

トールちゃん
ごめんね
今日は
よろしく
右隣の部屋の住人
笹木部さん
本当は谷菜さんと
行く予定だったん
だけど…今日は
ライブらしくて
Boooo
ああ…
あら トールちゃん
私服？ 珍しい…
あー たまには
着ろと小林さんに
言われまして
それで何をすれば
いいんですか？
ちょっと一回りして
変なことないか
見るだけよ
でもちょっと
怖いよね
私に怖いものなんて
ありませんよ!!
むしろ私を恐れて
ください!!
まあ
かわいい

笹木部さんは
武術の心得は？
え？私？
まったくない
けど…
では
いざという時
足手まといですね
あはは…何も
起こったり
しないわよ
この町は治安が
いいん…
オ
オ
オ
オ
オ
オ
いきなりの
レッドゾーン!!

何で今日に限ってこんな…
笹木部さん
笹木部さん
自販機の前で邪魔ですよね
注意しましょう
え でも…
コラー そこにたむろすると迷惑ですよー
ああ!?
なんだぁねぇちゃん文句あるってのか？
ありますよー言語を理解できない種族なんですかねー
あぁ!?
ナメテンジャ…!!
オッ
わっバカ
3年しよ!?

ひょ
い
トン
ひゅうぅぅぅ
ガクッ
え!?
小指デコピン
もう一言だけ
警告するので
理解できなかった
ら… まぁ
諦めて下さい
?
失せろ
パト

ヒィイイイイ
ダダダダダ
すごいね
大変でしたよ（加減が）
お覚えてろ!!
お前は俺達のチームドラゴンバスターズにケンカ売ったぜ!!
すぐ仲間連れてきてやるからな!!
むかつくチーム名ですねぇ
さて…気をとりなおしてバトロールにいきましょうか
仲間を呼ぶって…
ケーサツ呼ばなくていいのかしら
確かに処理する人がいりますねぇ
処理って何の…
そりゃもちろん…
！

ん？
大判
クリー
あんっ
甘波

不審者!!
不審者です!!
今世紀最大の!!
な…なんだとお!?

仕事サボってますねー
今日は早あがりで…
ん？

なんだその腕章は？
治安維持のパトロール活動をしているんですよ
ただいま
パトロール

え？

お前が…？
町の治安の為に活動してるのか？
そう言ってるじゃないですかー
え？
え？
パトロール

!?
そうか!! お前もついに目覚めてくれたのだな!!
正義の心に!!
は?

私は嬉しいぞ!! 今日からお前も調和の使徒だ
私もパトロールに助力させてくれ!!
まーたこいつは何を勘違いして〜

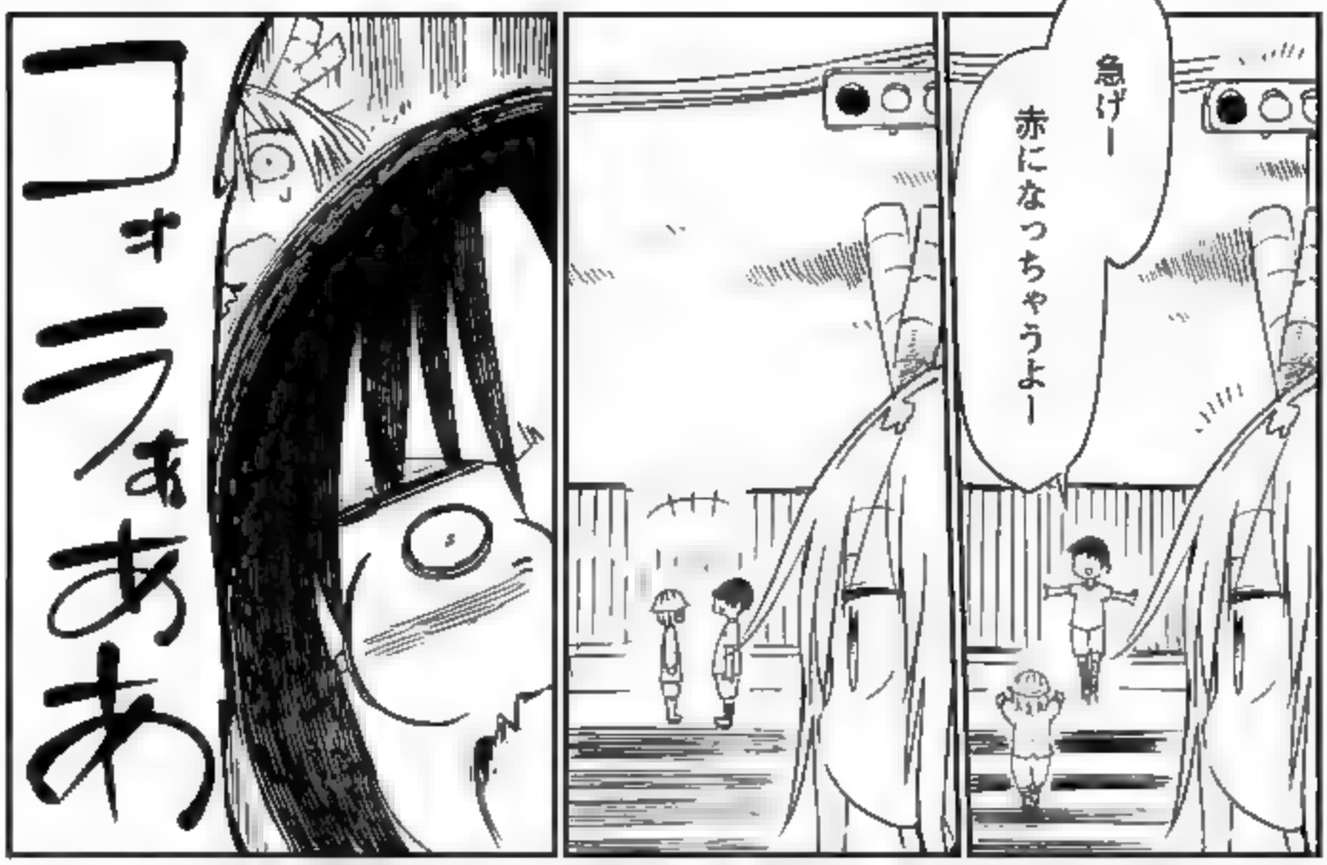
笹木部さん!?
あじゃあ私と交代する?
はい腕章
パトロール

ニコ
ニっ
ハー
ほら私 足手まといだもの〜〜〜〜!
パトロール

悪の発見力なら
私に一日の長がある
何でも聞いて
みなさい
あなたを消す
方法が知りたいです
まぁ 照れる
ことはない
ふふ…可愛いところ
あるじゃないか
どよ…
う…うざい…
今日に限って
なんて うざさ…

だいたい あなたは
何をもって
悪とするんですか？
私 周りに
迷惑をかけない
程度の非行とかなら
スルーですよ
私はこの社会で
働くことによって
社会常識を
身に付けた
社会規範から
意思を持って
外れる者を
悪としよう

法律の本が
あったろ
あれに抵触
するものを注意だ
法律の本？
なんですか
それ
六法全書だ
あれ魔道書
かと思った…


急げー
赤になっちゃうよー
コォラぁあああ

明確な
道交法違反だ！
二万円以下の
罰金だぞ!!
この悪党め
成敗してやる
そこに直れ!!
ズカ
ズカ
わぁあん

やめろ
やめろ！
子供相手に
何やってる！
私が社長さんに怒られる!!
何!?
悪を庇うのか!!
やはりお前も
混沌の竜だな！
落ち着け

軽犯罪にまで
いちいち絡むなら
帰りますよ
それに成敗って…
暴行のがよっぽど
ですよぉ
わーん
ぬうぅ…
トール お前
小林さんに
似てきたんじゃ
ないか？
え!?
本当ですか!?
エルマあなた
わかってますねー!!
ざいうー

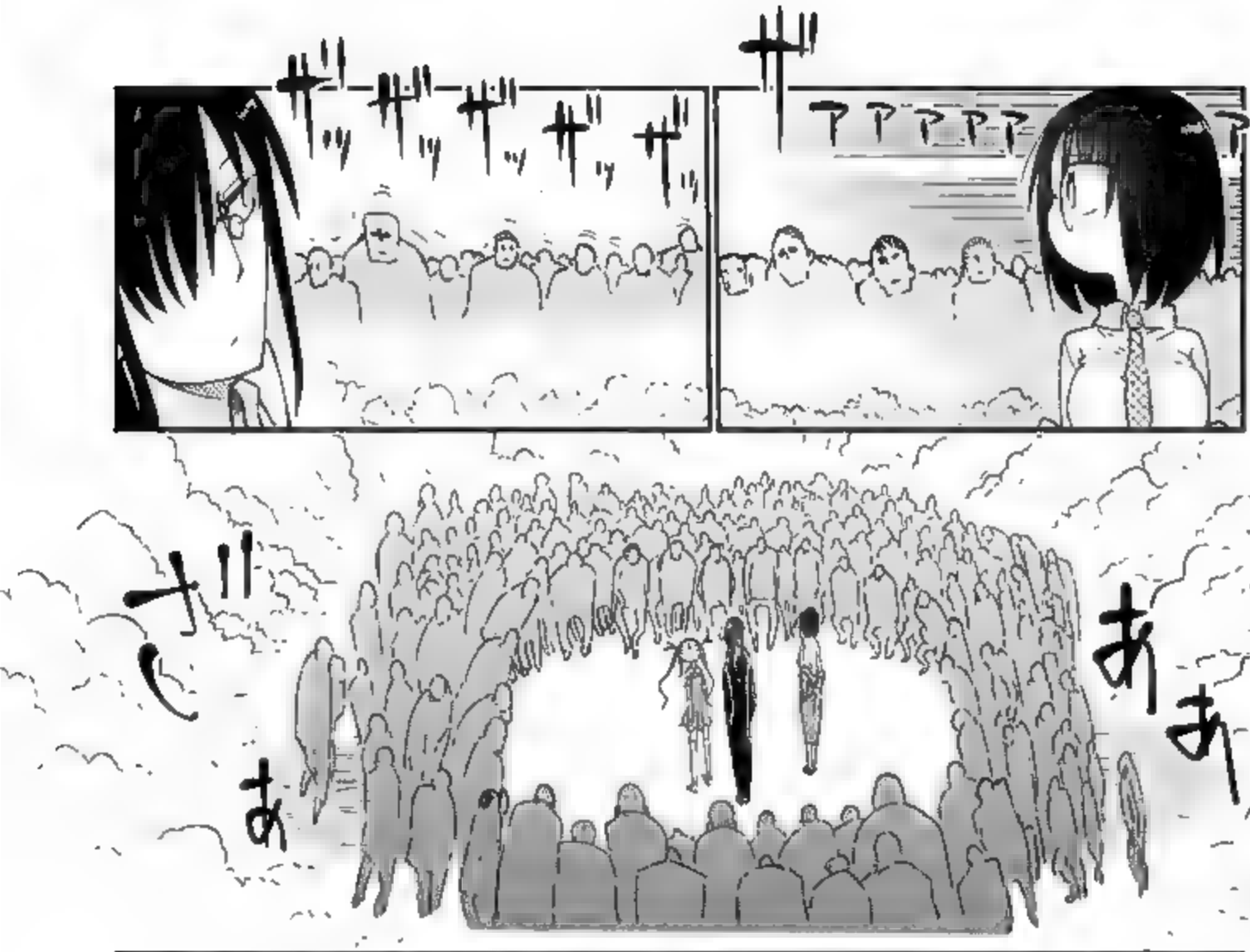
無目的で
歩くから
細かいことが
目に付くんです
不審者を
探してみましょう
ビラ…
不審者か…
どんな奴なんだ
チラシによると
不審者は
全身黒ずくめの
長髪 眼鏡
鋭い目をした
背の高い男らしいです
ほうそれは
わかりやすいな

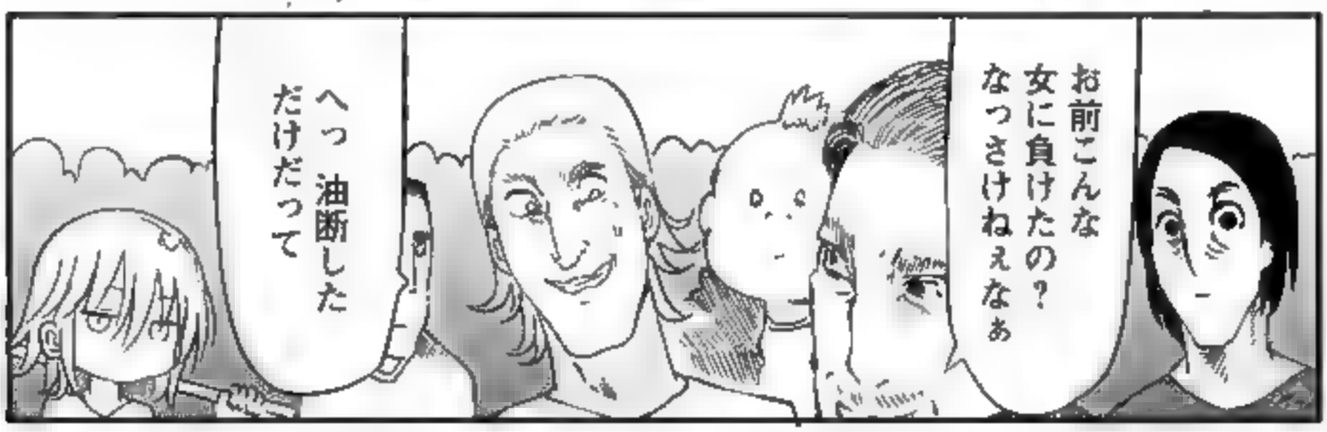
踊りながら
小学校の通学路に
出没していたと
シャア
アアア
なるほど
あんな
感じか
ええ
あんな
感じです

…どういうことなんですか
？
？どうもこうもないが…
滝谷とイベントで踊る振り付けの練習をしていた
何故こんなところで
部屋が狭いからだ

あなたは存在が恐ろしい邪竜なのですから もっと自重してください
む…
そうですよー キャラを考えてください
お前らは？
見回りですよ
ご苦労なことだな
混沌勢と調和勢が二人で…
どうもこの世界は我々をおかしくするようだな
あなた一番おかしくなっていますもんね

また
かぶれすぎって
説教ですか？
いや…
最近は…
わからなくは
ない…ないが
それを危険だと
思っているのは
変わらない
我々の認識と
この世界の常識が
綺麗に噛み合う
ことなどないと
ゆめゆめ忘れるな
それをすり合わせるのが
楽しいんじゃないですか
見つけたぞ！
？


アアアアア
おお
お


お前こんな女に負けたの？なっさけねぇなぁ
へっ 油断しただけだって

ようさっきはよくもやってくれたな
俺達をナメた奴は皆 最後には泣いて謝ったぜ
おおなんだ可愛い子増えてんじゃんなぁ おいいろいろシてもらおうぜ

お前もちっとは
やるみたいだが
今回はあの方が
来てくれたぜ！
ゴ
地元最強の不良
破滅の龍さんだ！
ゴゴゴゴゴゴ
龍
へへ…
女か…
ごっけぇ!!

闘える相手なら
男女なんて
関係ないぜ
だが闘えないなら
頭さっさと下げ
ちまいな
おやるってか
ならようしゃは
しないぜ！
行くぜぇ!!
ゴ
オ
やっちまえ
龍さん！

どどどど

うるさあああああい！

ドロロロロロロロロロロ

ぐわあああああああああああああああ

結局 絡んできたそいつらは全滅させた

バトロールもつつがなく終わったのだが…

一つ困ったことに

伝説を一つ作ってしまった

あどもトールさんちーっす

ども…

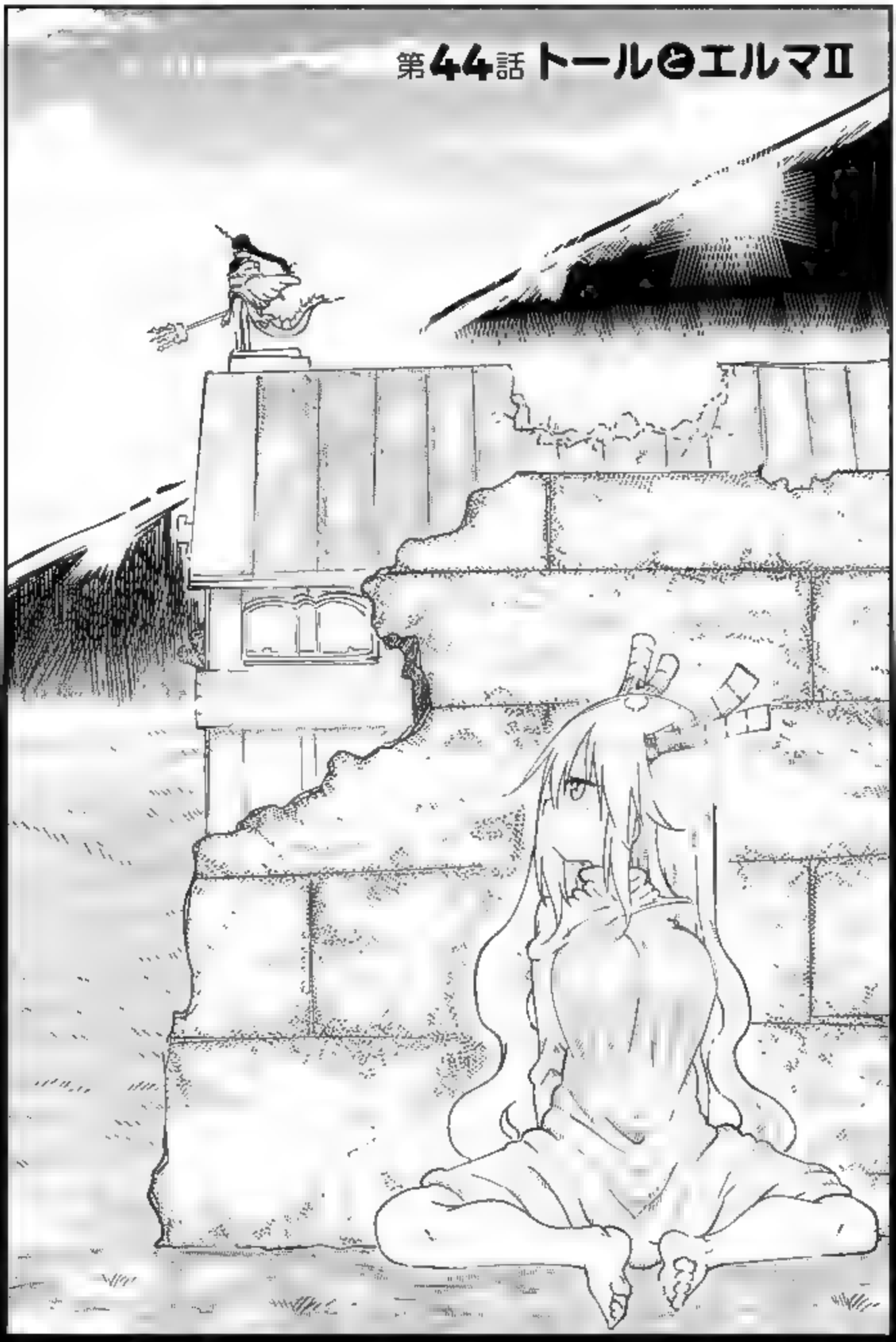
？

今日はよくあいさつされるね

第44話

町で会うなり
いがみ合うのは
やめたらどう？
こいつが
ガンをつけて
きたんですよー
なんだとー
ガンもどきは
美味いんだぞー!!

出会った時から
殺し合いしてる
仲だろうし仕方
ないのかなぁ
え？
いや…別に
殺し合いは
してなかった
ですよ
！
そうだな…
出会いの
時点では…
じゃあ二人は…
どんな出会いを？…


第44話 トールとエルマII

遥か昔――
おい
聞いたか？
近々内乱が
起こるかも
しれないん
だってよ
らしいな
王城の派閥
争いも
いよいよ
ピークだ
騎士団と
近衛で
大喧嘩か
間者が内部にいれば
隣国に伝わり
付け入られるぞ
商人の話では
準備を始めて
いるという
…ふん
愚かだな
人間は…
口を開けば
争いの話
ばかり…
価値のない生を
謳歌する気は
ないのか？
だがよ…来て
下さるんだろ？
聖海の巫女様が
！

聖海の巫女…
知っている――
最近 人間の
争いの間に
立っては
その争いを
解決している
という…

水や食べ物を
求める争いならば
湖を作り出し
実りを溢れさせ
力のぶつかり
合いには奇跡の
力で戦意を奪う

だがそいつ…

明らかに
人間じゃ
ないだろ！

神…または
それに準じる者…
いずれにせよ…

キリッ

奴等が地界の大地に
干渉するのはルール
違反だ！

ふんじばって
やる為に我(わ)が
こうして
来てるわけだ

噂を
すればだ！

どうやら
来られた
みたいだぞ！

ダッ ダッ ダッ ダッ

！

さて…

？

スル…

スル…

どんな
奴だ…

ざわ
ざわ
ア…
あいつ…
神でも
天使でも
ない…
まさか…！
だとしたら
ふざけて
いるのか!?

トッ
……
何の真似だ
ドラゴンが
奇跡の巫女？
笑わせる
私こそ
聞きたいな
何故
終焉帝の娘が
人里にいるのか

君の名は
確かトール…
だったか

私はただ
人同士が争う
ことはないと…

無駄な血は
愚かしいと
思っただけだ

止める力が
あるから
そうした

調和勢の怠け者の
中では仕事を
しているわけだ

人柱もたいそう
たてられた
ことだろうな

私は…
人柱なんて
いらない

…何？
何故だ？

人なんて食って
何が美味いと
いうんだ

この世にはもっと
美味いものが
きっとあるはずだ

人はそれを作って
くれると私は
信じている

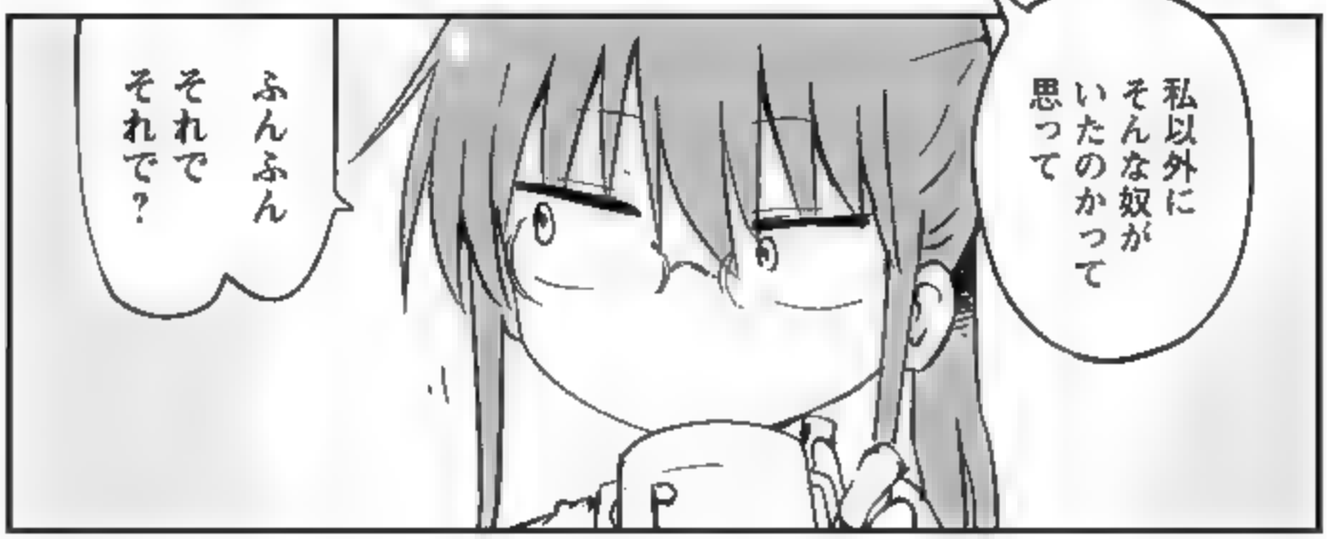
そうか…
エヘカトルが
言ってた
変わり者…

お前が
エルマか

しかし
見返りに
食い物？
っふっふ…
ﾀｧ…
お前は
混沌勢の方が
向いているんじゃ
ないのか エルマ
そういう
トール…
君も少し
違うようだ
私が今まで
出会った
混沌の竜は
会話に応じる
相手では
なかった
君だって
変わり者じゃ
ないのか？
フン
滅ぼす前に
見定める工程を
挟んだだけだ
見定める…か
ならば
しばらく
一緒に行動
してみないか？
何？
私と一緒に
人間の世界を
見定めよう

じゃあ
それから
二人で
しばらく？
ええまぁ…
こいつの独善に
つきあって
やったん
ですよ
あの時は
私もどうか
していた
お互い探り合い
してたって
ことか
価値観の違う相手同士
踏み込まずに
やっていたと
そう…
なんです
かねぇ？

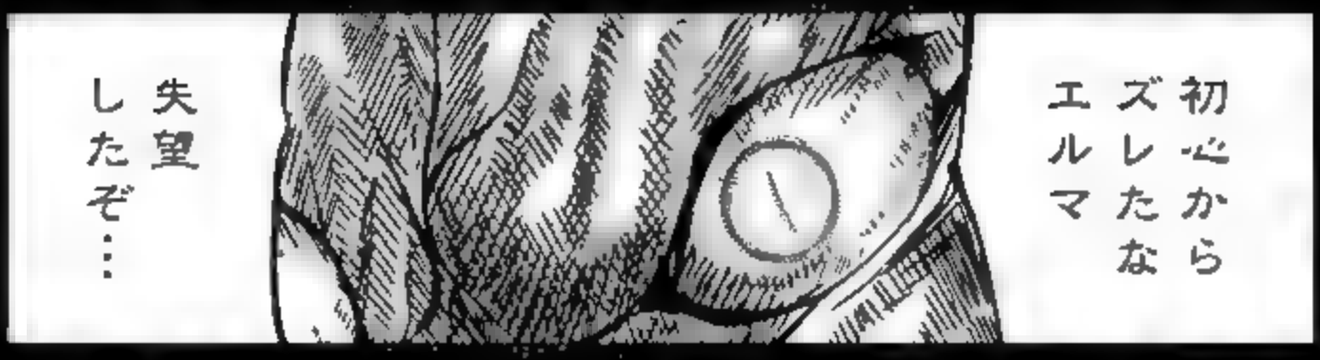
私は種族全体の
目的よりも
個人でやりたい
ことをやってる
エルマに興味が
ありました
当時の私も
そんな感じ
でしたし


私以外に
そんな奴が
いたのかって
思って
ふんふん
それで
それで？

簡単ですよ
お互いの
ことが
わかって
ソリが
合わないから
数十年後
自然と…
殺し合いに…
全然 自然じゃ
ないねぇ
ガラ
なぜだ…

何故 宮殿を
破壊した!?
あそこは
平和の象徴に
なるはずだった!
平和か…
お前あっての
平和に寒気が
したからな
結局のところ
人間はお前に
すがっている
だけではないか
何!?
あの宮殿は
お前を神として
あがめる為に
立てられたという
お前を元に宗教が
根付き階級構造が
取り入れられて
格差が生まれた
じきにお前を
受け入れぬ者と
戦いを始める
ことだろう…
それは…
私が禁止
する
我が言いたいのは
そういうことではない

お前…
永遠に人間と
そうしている
つもりか
欲する物を
与え続け…
あがめられる
象徴として
ずっと…
お前は個人の
枠組みで■いていると
思っていたが
人間ごときの枠組みに
飲み込まれるつもりか
と言っているのだ


初心から
ズレたな
エルマ
失望
したぞ…

見苦しさに
耐えられん
お前を殺して
人間共を夢から
覚ましてやる
言わせておけば…

やれるものならやってみろぉ!!

私だって
わかっていた…
これはよくない
流れだなと…
ゴゴ…
ゴゴ…
だけど
しょうがない
じゃないか…
彼らが
持ってくる
料理が…
とっても
おいしかったの
だからぁ!!

ゴッ
ゴッ
ゴッ
こ…こいつ…
強ッ!?
ドゴ
んのッ!!
ンナクソッ!!
ギギギ
オオ

こうして…
私達は
決定的に
道を違えたのです
はぁぁ…
壮大な
ような
みみっちい
ような…
結局 私も
それ以降は
調和勢の
拠点に戻って
人とは関わって
こなかった

でもさー
話を聞く限りだと
二人ってさ
喧嘩するほど
仲がいいって
やつだねぇ
こ 小林さん
今の話の
何を聞いて
いたんですか!?
そうだぞ
小林さん!
完全な平行線
なのだ!
そうかな

ここでは
トールは
おとなしいし
エルマだって
人を導く前に
仕事で手一杯
だしね
ここだったら
いがみ合わなくて
いいんじゃない?

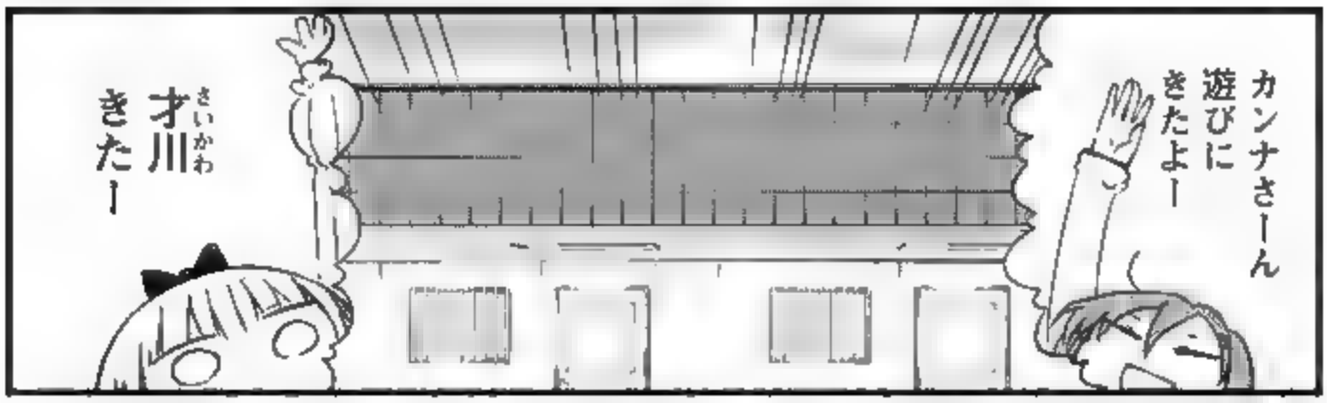
小林さ〜ん?

どうしてそうなってるか
わからないんですか？
え？
美味いメシが
あるから
だよな！
トールも
私も食いしん坊
なのだ！
テラッ…

やっぱり
あなたとは
合いません！
何をう!!
……
お互いの内面を
知るほど距離が
近づいて…
認めない部分は
戦って削りあって

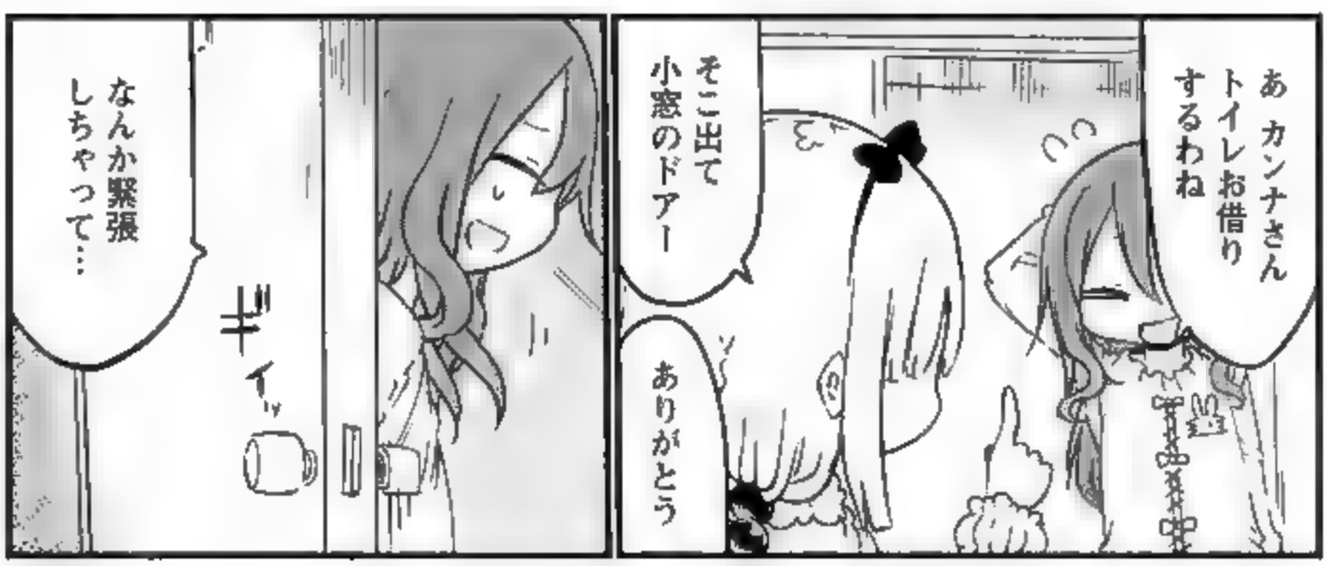
ギャー
ギャー
ギッ
私も
ああいう友達
ほしかったなぁ

どっちの方が強いの？
私ですだ!!


カンナさーん
遊びに
きたよー
才川(さいかわ)
きたー

ようこそ
才川ー
歓迎するー
もふー
デレレー
はーい
歓迎されまーす
あれ？ カンナさんの
お母さんは？
トール様と
買い物ー

ということは
二人きり!?
あらまぁ
どうしましょう
大人の階段登って
シンデレラ卒業
かしらー!!
？


あ カンナさん
トイレお借り
するわね
そこ出て
小窓のドアー
ありがとう
ギィッ
なんか緊張
しちゃって…

第45話 イルルと才川

二人きりじゃ…
なかったのね
？
あの子は
どこの小学校
なの？
見たことないわ
ん？

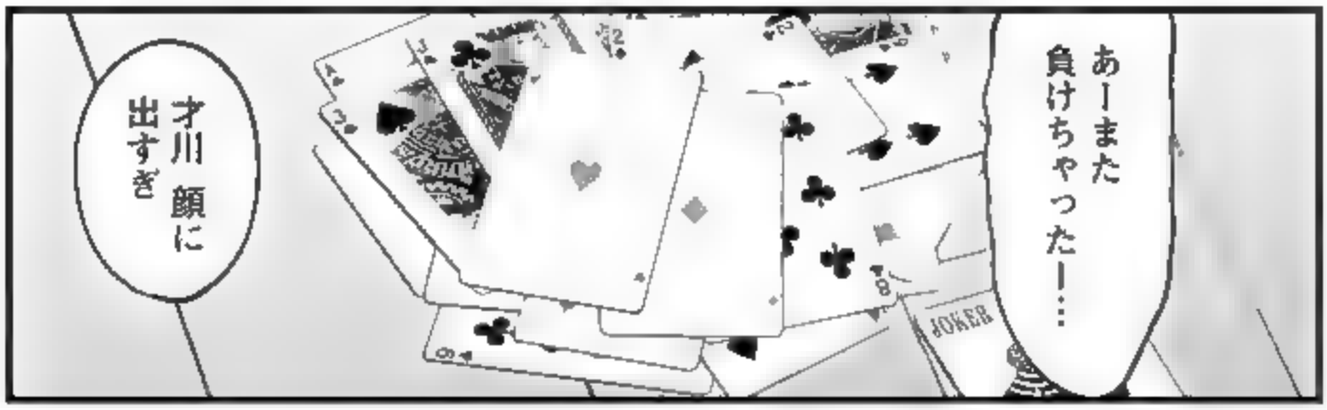
小学校には
行ってない
え!?
大丈夫なの？
大丈夫
ここに
住んでる
住んでるの!?

考えてみれば
カンナさんって
謎が多いわ
ぼけーっとしてると
思ったら妙に
頭がよかったり
運動ができたり…
お母さんのことを
コバヤシって
苗字で呼ぶし…
メイドのことを
様づけだし…

才川ー
早く遊ぼー
まぁいいか！
うづす
かわいいし!!

トランプもってきたの！これやろ！
ん！
！
……
イルルさん…も一緒にやる？
やろ！
……
私はいいよ…
スッ
あ
私 何か気に障ること言ったかしら
イルルなんか変…

JOKER


あーまた
負けちゃったー…
才川 顔に
出すぎ
JOKER

罰ゲーム！
おなかさすってー
ゴロ ゴロ
これは…
ご褒美なのでは…
ピンポーン

やぁ
近くに寄った
ものでね
お菓子を
もってきたよ
コバヤシ達いない
あら じゃあ
奥で待たせて
もらおうかな
お菓子は友達と
分けていいよ

あの人も友達？
そう
すごい…あれくらいじゃなくても将来ほしいよねー
メロンみたい
？
やぁ
君はカンナ達と遊ばないのかい？
ガタ
資格がない
私はこの町を破壊しようとした
まだ自分を許してない

じゃあ時間を巻き戻して無かったことにする？
それくらいなら僕はできるよ
そういうのは…違う
小林がくれたあの言葉も無かったことにはできないから
なーるほど

でも資格かー
そんなことといったら人間と関わる資格があるドラゴンなんてそんなにいないよ
ん―
…
小林さんのようにはいかないなぁー

それじゃあちょっと話してみようよ
!!
トイレの中で待っててごらん
……

また
負けちゃったー!!
才川わざと
負けてる?
そんなこと
ないよー!
おおおお
なでなでなでな

カンナさん
私 トイレに…
またー
私 こんな
トイレ
近かったかな…
バタリ
！
えっ!?
あれ？
ぱんぱん
あの…
えっと…
ねぇ…
あなたの
名前は？
え？ 才川…
才川…
私 本当はさっき
遊びたかったの
え？
でも私は 昔
乱暴者だったから
いいのかなって
乱暴者…
いろいろ
壊そうとした
不良なんだ

乱暴者…
嫌いでしょ？
……
私も乱暴者
だからなぁ
そうなの？
うん…
気に入らないことがあると
つい暴れちゃうの
！
カンナさんも
最初 気に入らなくて
ぶっとばしてやろうと
思ったの
でもかわいいから
友達になりたいなって
こ…こいつ
イルルさんも
かわいいし…
友達にならない？
何も考えてないぞ…!?
罪の重さや
責任をきちんと取り扱うこと
子供はまだそれを
学んでいる途中なんだよ
そういう面倒くさいこと
考えずに遊んでいたい子だって
たくさんいるのさ

イルルだって
昔はそうだった
だけど環境が
そうさせて
くれなかった
変わらなければ
たまし討ちに
あうから
変わらなければ
大人と一緒の場で
戦えないから

でも今は
忘れて
戻っていい
優しく騙して
くれる大人が
ここにはいる

さっさと分別のない
無責任な子供に
戻るがいいさ

ただいまー
いやー
ばったり会った
エルマと話し
こんじゃってね
すぐごはんに
しますからねー
ってあれ？
…才川さんの
親御さんに
電話しないと
起こしますか？
いや 布団もってきて

それにしても
大きいわね
わー
揉む？
揉む!!!

わぁぁぁぁぁぁ
なんでまた僕のベッドに入ってるんだ!?
しかも全裸で!?
たぷレ
たぷレ
寒そうだったからねふとんになってあげようかと
使い魔として
いーらーなーいー!!

第46話 ルコアと翔太

ハァー
ルコアが来てから
ずっとこうだ
家に帰れば
べったり…
僕だって男
なんだぞー

よし！

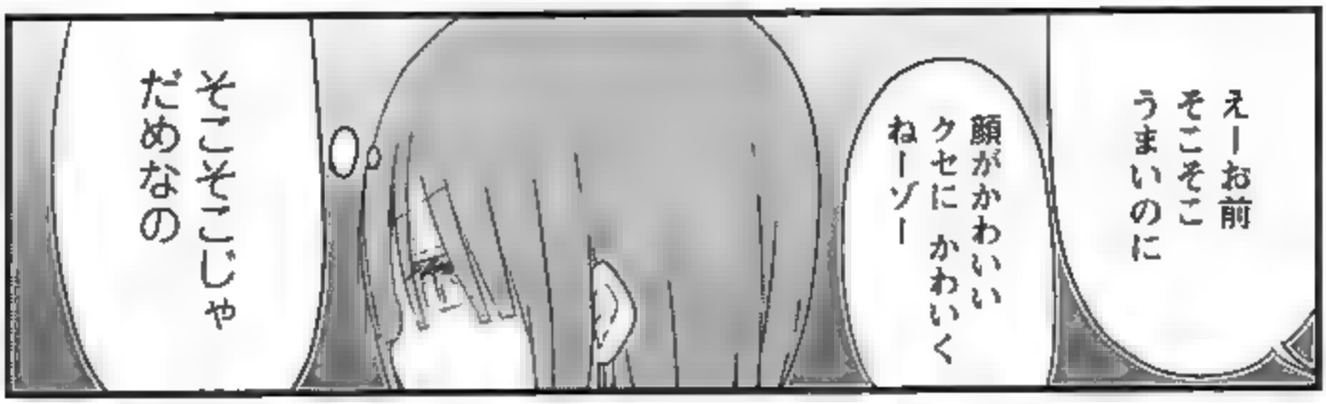
その為には…
主導権を
取り戻さ
なくては…!!
どちらが主人か
教えてやる!!

●REC
弱点を探る!!
さてと…
プー
ペろん♡
わっ!
ヌギッ
ヌギヌギ
ポイ
わ
わ
何やってんだこいつ――ッ
ふー やっぱりハダカが一番おちつくなー
ぷるん♡

あー 僕って本当服って嫌いだなー
弱点だねこれは
!?
服が嫌い!?よーしじゃあ服を贈ってやる!!
おかーさんいらない服ない？
何に使うの？
ルコアルコアー
？？
はいこれ！
うぉぉ
！
主人の命令だ!!その服を着ろ!!
さぁ嫌がってなきをいれろ!!
ぴち…
ビリ
ぴち…

プレゼント？
ありがとー♡
わーい
ギュー
クソ…
次だ…
ムニ
にがいもの
なんて
どうだ…
ブラックコーヒー
ガーン
コクコク
苦手なのは
僕だった!!
近所の
怖い犬は
どうだ…
どこ
つれてって
くれるのー
ガウ
むに
だから
苦手なのは
僕だったぁッ

だめだー
どうしても
からまわる
どうしたら…
あれ
翔太じゃん
公園いるの
めずらしいなー
ドッジボール
混ざるか？
いや…気分じゃない
スッ


えーお前
そこそこ
うまいのに
顔がかわいい
クセに かわいく
ねーゾー
そこそこじゃ
だめなの

僕は一番の
魔法使いに
なるんだ
自分の使い魔くらい
完璧に制御できなきゃ
…と
ドロン
あ…
ごめんなさ…

ルコアさんの弱点？
からかってくるルコアさんにしっぺ返ししたいんだ？
うん
それならいいことを知っていますよ
本当!?
弱点はあの胸です
あれで攻撃はかわしづらいでしょう
戦闘面じゃなくて!!

うーん でしたら
お酒でしょうね

お酒？

ルコアさん
お酒強いって
言って
なかったっけ？

そりゃ
アルコールには
強いですよ

そう
ではなく

お酒に目が
ないんですよ

普段はスキが
ないのに酒だと
無警戒に
飲むんですよ

毒とかいれても
気づかないんじゃ
ないかなと

それじゃ
死んじゃうよ!!

弱点って
いうけど…

それこそ
ドラゴンから
見たら人なんて
弱点だらけだよ

弱味一つ
握ったところで
ルコアさんをどうにか
できるかな？

今の関係じゃ
だめなの？

だめ

ルコアは…

いつもどこか
ふらふらしたり…
僕をからかったり
僕を
バカにしてる…
認めてないんだ
だったら
弱点の一つでも
ついて見返して
やりたいじゃないか

…
あなたは
認められて
いると思い
ますよ
え？
ルコアさんは
あまり一つの
場所に留まって
いられるタチ
じゃない
ちゃんと
気にいって
そこにいる
はずです

あれ…
翔太君
来てたの？
ビクッ
!?
い いつから
いたの!?
今 来たところ
だよー

ぼ…僕
帰るよ
じゃあ
送るねー
おつかれ
ああ ちなみに
小林さんに
弱点はあり
ませんよ！
トールの
弱点は
目かなー

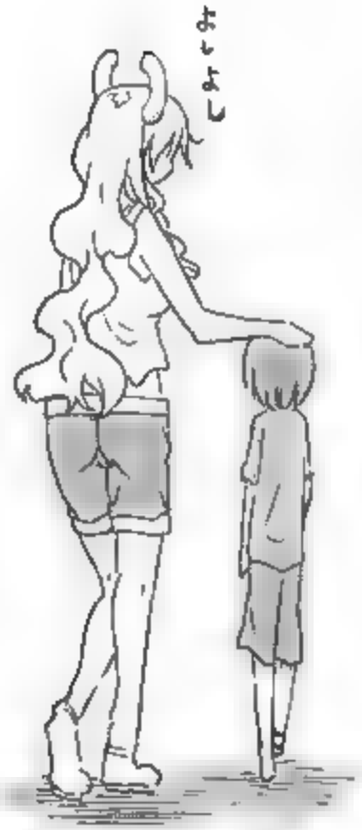
言ってくれれば
僕の弱いところ
教えてあげ
たのに
え
僕の一番
嫌なことはね
居場所を
なくすことだよ

一度 大失敗を
してしまってね
故郷を
追われた
とても
悲しかったのさ
それ以来
一つの場所にいるのが
怖くなって……

でも居場所を
もたないと思っていた
子が居場所を
見つけてね
なんだかうらやましく
なってしまった
それが…
僕のとこに
来た理由？
なんで僕
なの？

君は言って
くれたじゃ
ないか
僕にここに
いてくれって
その一言が
とても嬉し
かったんだよ
でもそれは
使い魔と
して…
本当はわかって
いるんだ…
ルコアは
すごい奴で…
僕は未熟で
見合わないって
そうさ

ありがと…



でも
その子供扱いを
やめてほしいん
だけどなぁ…

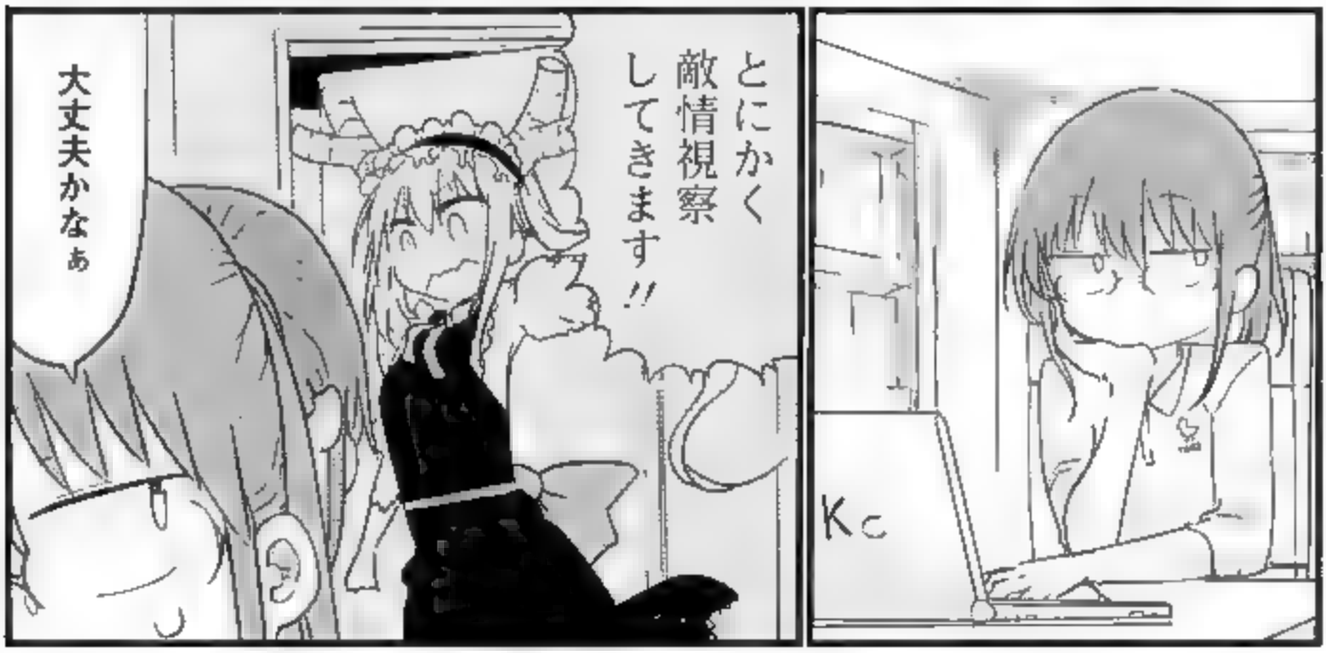
翔太君…僕、いつでもいいからね？
な、なんの話!?

小林さん…
私って究極の
メイドじゃあ
ないですか？

もちろん違うけど
どうしたの？
いえね…
自分では
私は究極の
メイドだとは
思うんですけど
違う
つってんだろ
こんな本を
見つけて
しまったんです
OPEN
メイド
喫茶
オープン…
結構
近場だね

最高のメイドが
あなたをお出迎えと
あります！
最高のメイド…！
私を差し置いて
なんという
誇大広告か！
誇大広告は
いけないよね
目の前の
ドラゴンが
今やってるけど
とりあえず
呪いの炎で
草木も生えぬ
暗黒の塵に
してきます！
まさに
燃え萌え？
いや絶対
やめろよ

第47話 トールとメイド喫茶


とにかく
敵情視察
してきます!!
大丈夫かなぁ

ただいま
帰りましたー
お帰り
どうだった?
何もして
ないよね?

なんか働く
ことに
なりました
なんで!?

私が意気揚々と
敵の伏魔殿へ
乗り込むとですね
たのもー!!
伏魔殿て
あらあなた
バイトの
面接の子？
まぁ
メイド服を
着ちゃって
随分な気合いの
入りよう…
しかも綺麗ー
外人さん？

ポコ
ぴー
あなたの
熱意に
負けたわ…
採用よ！

というわけで
勝ってきたので
その報酬です
えっへん
大丈夫か
そのメイド喫茶？
まぁ最近は
小林さんや
カンナがいない間
やることなくて
暇でしたからね
いいの
やってないですわー
プレデター
面白い
手持ち無沙汰の
主婦のパート
感覚!?

じゃあ
働いて
みるんだ…
大丈夫？
なーにを
言ってますか
毎日こうして
メイドとして
働いているのです
慣れたものですよ！
いや…

トール…私は
今でこそ会社勤めで
働いているが
実家に居たときは
飲食店で働いていた…
いいか…サービス業を
なめてはならない
メイド喫茶の
コスプレメイド形式は
私の主義主張には反するが
あのサービス精神は
尊敬に値するものだ
こ 小林さん？
しゅ
し

いい機会だトール
オープニングスタッフなら
しっかり練度も積めるはず
サービス業というものを
勉強してくるがいい！
な なんか
怖くなって
きました

さて…あれから
しばらく経ったけど
トールはちゃんと
働けているのだろうか
コバヤシ
しんぱいしょー
ここか…
お客さんの入りも
いいみたいだ

お帰りなさいませ
ご主人様～！
おー
おー
&お嬢様～
トール様
みたいな人
いっぱい！

どうやらプレーンな
タイプのメイド喫茶
なようだね
萌えという言葉は
あまり使われなく
なったがその頃の
勢いはそのまま
残っている
ガタッ
メニューは…
これまた
基本に忠実
それぞれの
メニューごとの
サービスがある
おそらく
「おいしくなーれ
もえもえきゅん」等
魔法の言葉も
それぞれ違うだろう
うむ…
コバヤシ
詳しい

ここだけの話…
昔こういう店で
バイトしようと
したことがあって…
駄目だった…
駄目だったわぁ…
？
よくわからない
けど不憫
それより
トールは？
ホールには
出てない
みたいだけど
！
あそこ
アアア
10番 料理
あがります！
はーい！
お皿少なく
なってきたから
足して足して！
ただいまー！
トッ
トッ
トッ
トッ

すごい手際！
流石コック長！
本当に
助かってます
コック長！
トール
コック長様!!
いやいや
あなた方が
効率的に動いて
くれているからこそ…
ん…？
わい
わい
あ 小林さん！
見にきてくれたん
ですね!!
…

大活躍じゃん
びっくりした
えへへー
どんなもん
ですか！
私にかかれば
こんなもん
ですよ
パ
これで
また一歩
メイドとして…
メイド…

あああああああ
これ全然メイドじゃない!!
いやコックも
メイドの一部っちゃ
一部なんだけどね
わばあ
ちょっと頼んで
ホールと代わって
もらいます！
事務所
いや適材適所って
あると思うよ？
火山のドラゴン
くらい適所ですう！

じゃあまた
入りなおして
ください
えー
おいしくなーれ
おいしー
チリンチリン
いらっしゃいませ
小林さん！
ご主人様だろ
ガッ

コック長は
当初ホールに
入った時も
「小林さん以外を
ご主人様と呼ぶ
気はない！」…と
いや私も
ご主人様と
呼ばれて
ないじゃん
こちらに
おかけになって
お待ちください
さてようやく
注文だ

オムライス
おむらーいす！
オッケー
じゃあ
オムライス
二つで
はーい
かしこまり
ましたー！
それでは
オムライスが
おいしくなる
魔法をかけさせて
頂きます！
かわいく
頼むよ

世を統べる
影の王に奉らわん
外法を以って
是を最上とすべし
願うは豊穣
品足る礼讃
領を変え更なる
碑を齎せ給え…
我が願は泥として
広がり穢れを
我が理は侵食し
狂気の混濫を…
正しき偽りへと
書き換えを果たせ！
おいしくなーれ
萌え萌えきゅん！

さ
おいしく
なりましたよ
召し上がれ☆
魔法っていうか
呪いだろこれ！
見た目悪いし！
泥だ
これ!!

シェフを
呼べー！
はーい
シェフもメイドも
ドラゴンも
トールでーす!!
うまー

結局のところ
トールはコックとして
問題なくメイド喫茶で
働けたのであった
能力は
あるんだよ
能力は…
だが
でもやっぱり
小林さんの
メイド以外は
やりたくないです
辞めます

駄目です!!
え?
最早コック長の料理の味がお店の名物なんですよ!
ネットの口コミもそういった書き込みがたくさんなんです!
えーっと…

ならおいしくなる魔法の言葉を教えてあげますから
いいですか?人間の場合はまず魔法陣を書いて…
おかえりなさいませご主人様ー
おーいいお店でヤンスねー

じゃあオムライスを二つ
はーい
ではおいしくなる魔法をかけまーす
世を統べる影の王に奉らわん外法を以って…
オオオオオ…
随分 個性的なメイド喫茶でヤンスねぇ…

第48話

小林さんちのメイドラゴン 大祭り

第48話
トールとお祭り

商店街の
人達に
頼まれまして…
へー 信頼
されてるんだ
祭りだか
なんだか
知りませんが
いい迷惑
ですよ
そう？

笑ってたけど
あそこは小林さんの
通り道です
私が飾った灯りが
小林さんを照らす
と思うと
詩的じゃん

当日も
何かするの？
当日は
メイドカフェの
子達が店を
出すらしくて
そっちを手伝
おうかなと
くる
くる
ふーん

最近――トールはいい感じなのでは ないだろうか
町の人と積極的に関わって…
協力して信頼関係を築いてそれに見事 応える
ドラゴンという力があればわけないのだろう
それは良い変化なのだと思う
ただ改めて考えてしまうんだよ
私はそんなトールに慕われるほどの人間かと…
ただね…

いや…
これは少し
違うな…
面倒がかからなく
なっていくことが
少し…
さびしい
のか？
まぁこんくらい
飲みこんどこ
祭り当日
ワァ
ワァ
やきとり
氷氷氷
プァ…

どこの世界でも祭りはあるものだな
むこうの祭りはどんなの？
えーと確か…
豚の丸焼き鴨肉の蒸し焼きブドウジュースにカボチャパイ…
じゅる…
食い物しか覚えてないな？

で トールは？
はーい メイドカフェ 特製オムライスでーす
なんでメイド服じゃなくて 縁日の大将みたいな 黒無地スタイル なんだよ
え？ メイド服 動きにくく ないですか？
言いやがったな コノヤロー…
大事なのは 心！
了解
私 あと一時間で あがりなのでー

でなー
元いた世界の祭りは神を祝うことが多かった
へー
こっちも外国はそんな感じだけど…
そうなると人の警備も強くなってドラゴンも魔物も近づけん
うん
うん
北の方の大国が…
まあ…その時期は通りづらかった
神が降りてきてたりするしね
異世界トーク…
入っていけないなぁ

異世界の話を聞くのは楽しいけど…
ちょっと疎外感あるよなぁ
まぁこんくらい飲みこもう
！
おーい
ここのお祭りも楽しいもんだねー
ねー向こうの国では
……
もぐもぐ

しぐう
…翔太君は
ルコアさん好き？
！
いいきなり
何!?
いやさ…
例えばの
話…
ルコアさんが
翔太君の友達
ないしクラスメイトと
仲良くしてさ
それ見てたら
どう思う
かなって
…
あー ごめん
言わなくて
いい
言わなくて
いいよ
……
そうだよなぁ…

こういうのだよな
スッ
どこ行くの？
一時間経ったから…
あれ？ 小林さん？
こっちから探しに行こうと思ったのに

浴衣
どうしたの？
特製
メイドカフェの
子達が着てくれって
人間にしては
いい奴らです
と 皆は
あそこですか
くいっ
わ

ちょっと…
二人で…
回ろっか
喜んで
りんご飴

小林さん
どうしたんですか？
あ まさかやっと
トールの魅力を
理解してくれ
ましたか？
……
うん
うわっ
とぉ!?
トールは誰とでも
その気になれば
仲良くできて…
そう
何でもできる
！
…はぁ
トン
キョ
今日は何となく
私はそんな子に
慕われてて
いいのかなとか
考えてた
え
で 思ったん
だよ

いいんだよ
めんどくせー
このまま
このままって

……
はぁ…

結論はこんなんだけど…
トールはどう思ったか知りたいかなって
私ですかぁ…
私は小林さんが好きです
…ただ

広島お好み焼き
私は小林さんより…
人間より優れている
ところ たくさんあると
思います
当然です
私はドラゴンですし
それは誇りでも
あります
その全てを
かけて優劣を決め
生き死にする場所に
私はいました

でも心は…
心の優劣は
どうにも
つけられません
私はそうなろうと
するばかりでした
そう在ろうと
願うばかりでした
戦いに
向いてれば
優れている？
美しければ？
聡ければ？
大人になろうと
してたんですよ

ただそこに
在るだけの心が
こんなに
安らぐだなんて
知らなかった
まーた すぐ
人を買いかぶる
小林さんが
無自覚なほど
私は嬉しいです
そんな簡単に
私を救ってくれる
人がいるんだって
……
小林さん…

大好きです

これからも…
ずっとずっと

ドーン
ドーン
ドーン…

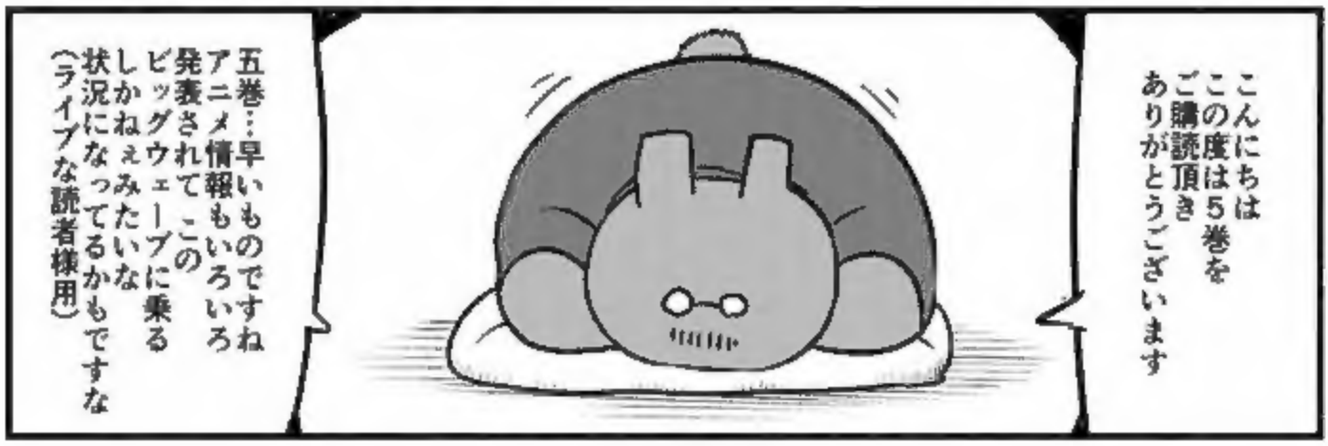
トール
ッ

おいしい
重い
え――!?

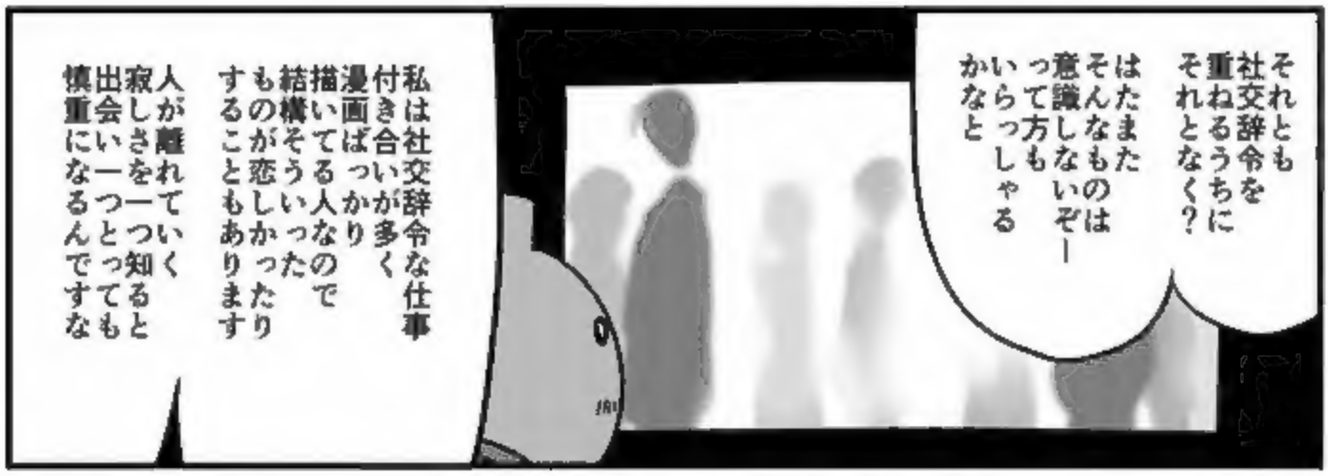
来年は
二和着て
行こう…

小林さんちの
メイドラゴン
The maid dragon of Kobayashi-san

あとがき


こんにちは
この度は5巻を
ご購読頂き
ありがとうございます
五巻…早いものですね
アニメ情報もいろいろ
発表されて…この
ビッグウェーブに乗る
しかねぇみたいな
状況になってるかもですな
(ライブな読者様用)

それはそうと
今回の話は
距離感の見直しの
話が多かったかも
しれないなと
思いました
折り返しの
著者コメントでも
触れたのは
そういう理由です
人の距離感…
皆さんは どう
測っている
でしょうか?
ファースト
コンタクトの
感触から?


それとも
社交辞令を
重ねるうちに
それとなく?
はたまた
そんなものは
意識しないぞー
って方も
いらっしゃる
かなと
私は社交辞令な仕事
付き合いが多く
漫画ばっかり
描いてる人なので
結構そういった
ものが恋しかったり
することもあります
人が離れていく
寂しさを一つ知ると
出会い一つとっても
慎重になるんですな

しかし人付き合いでの
互いの距離感は自分の
勝手な思い込みだったり
すると 悲劇を招いたり
杞憂に終わることも
多々あるでしょう
いつの間にか
近づいていたり
離れていたり…
定期的に確認
していくことが
大事なのかなと…
感覚でやるような
ことだとは
思うんですがね
それでは6巻も
よろしくお願いします
ありがとうございました

月刊アクション発コミックスを
無料で試し読み!!

専用アプリをダウンロードして
読み取り用画像に「かざす」だけ!

※スマートフォン、タブレット端末のみ対応
（一部未対応の機種もあります）

読み取り用画像

読み取りには専用アプリ(無料)
のダウンロードが必要です

詳細につきましては、特設ページ
<http://webaction.jp/appDL/>をご覧ください。
左のQRコードを読み取るか、WEBコミックアクション
TOPページのバナーからも飛べます。

初出「月刊アクション」2016年5月号～2016年12月号

ACTION COMICS

小林さんちのメイドラゴン⑤

2016年12月12日　第1刷発行

著者　クール教信者（きょうしんじゃ）
©coolkyousinnjya 2013
発行者　稲垣 潔
発行所　株式会社 双葉社　〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3-28
電話03-5261-4818(営業) 03-5261-4804(編集)
装丁　LIGHTNING
印刷所　三晃印刷株式会社
製本所　株式会社宮本製本所

落丁・乱丁の場合は送料双葉社負担でお取り替えいたします。「製作部」あてにお送りください。
ただし、古書店で購入したものについてはお取り替えできません。
[電話]03-5261-4822(製作部)定価はカバーに表示してあります。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き
禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、
たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

WEBコミックアクション　http://webaction.jp
双葉社ホームページ　http://www.futabasha.co.jp
(双葉社の書籍・コミック・ムックが買えます)

この物語はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。

ISBN978-4-575-84894-6　C9979